

## 「地（知）の拠点大学による地域創生推進事業（COC+）」の全体評価

### 1. 令和元年度の事業について

「地（知）の拠点大学による地域創生推進事業（COC+）」の最終年は事業開始から継続して構築してきた教育システム、県内自治体・企業との連携システムが十分に機能した。

（1）教育システムとしては地域志向科目、PBL型科目（奈良女子大学）、地域創生マインド養成教育プログラム、地域共創研究クラスター（奈良工業高等専門学校）、地域連携・創生演習（奈良県立大学）が機能して、学生たちの地域志向・マインドを効果的に醸成することができた。

奈良女子大学：地域志向科目の受講率が72.2%から90.1%に大幅に向上したこと、令和元年度入学から必修化し、「奈良」に着目させるシステムを定着させたこと、PBL授業で主体的に地域に関わる学生を育成したことの結果として、県内団体・参加企業開催のビジネスプランコンテストの「審査員特別賞」を受賞し、県外出身の受講生1名が下市町職員として採用された。

奈良工業高等専門学校：地元金融機関と企業の特別講義を基に地域を活性化させるアイデアを事業計画書としてまとめる授業、県内企業が抱える技術課題の提供を受けて解決策を考える授業などグループワークで地域産業、県内企業の理解を深める主体的な授業が効果的に展開された。

奈良県立大学：学生自身の企画による学内イベントや奈良で働く社会人を招いての交流会を開催した。PBL手法を活用した「地域連携・創生演習（教養講義Ⅳ）」を開講し、学生の県内就業意識を醸成することができた。

（2）県内自治体・企業との連携においても、授業への協力、県内企業・県内自治体魅力発見フェスタ2019、見学ツアー（バスを自治体・企業が提供）、交流会（奈良県主催）、など積極的な協働が実現した。また、昨年を引き続いて奈良県の実情にあったきめ細かな指導や就職支援が丁寧に実施された。

奈良女子大学：「県内企業・県内自治体魅力発見フェスタ2019」には県内企業・自治体が31団体、COC+参加校を含めた延べ102名の学生が参加し、出展企業・自治体には5名の学生が就職する成果に繋がった。さらに、COC+コーディネーターが企業に帯同訪問（7社）を行った結果、2名の県内企業への内定に繋がった。

奈良工業高等専門学校：奈良県雇用政策課と連携して卒業生向け県内再就職支援登録システムや企業と連携した再就職支援登録システムを活用し、本校卒業生の内、平成29年度3

名、平成 30 年度 3 名、令和元年度 3 名の奈良県内への再就職が決まるなど着実に成果をあげた。

奈良県立大学：地方公務員志望の学生が多く存在することに注目して、7つの就活イベントを実施した。あわせて、都市部の自治体にのみ目が行きがちな学生達の視野を広げる試みも行った。これらの取り組みから、奈良県 3 名、奈良市役所 2 名、生駒市役所 1 名、御所市役所 1 名の内定に至った。

## 2. 事業の継続性について

5年間で構築した教育システム、県内自治体・企業との連携システムを活かして、事業終了後も継続して地域創生に寄与していくことが重要である。

奈良女子大学は、学内予算により「やまと共創郷育センター」の組織を存続すること、コーディネーターを継続雇用し、事業期間中に構築した協働機関とのネットワークを活用した事業を継続することとした。奈良工業高等専門学校は、「COC+実施本部」を「地域創生研究教育センター」に改組して研究クラスターの研究体制を継続することとした。奈良県立大学は、キャリア教育専門の専任教員を採用してキャリア・サポート室と連携しながら事業を継承する。

以上のように、3校が本事業を推進してきた組織体制を継続したことにより、県内企業・県内自治体との協働も継続して根付くことができるであろう。奈良県下の大学・自治体・企業との新しい枠組みを土台に、今後も3大学・高専が連携して「奈良創生」に大きく寄与することを確信する。

## 3. 全体評価（令和元年度の各大学・高専の取組み）について

### 奈良女子大学

・事業協同地域就職率の数値目標が達成できなかった点を除いて、すべての項目で目標を達成した。プロジェクト期間中、本事業の内容は質・量共に改善充実してきた。サテライト施設の継続使用、学内コーディネーターの継続雇用により次年度以降の事業の継続した発展が期待される点も評価したい。

・県内への就職率、就職者数の目標を達成することはできなかったが、計画以上の活動を実施することができ、学生の意識を変えることが出来たことを高く評する。活動にかかわった学生が、実際に就職につながった事例が確実に発生し、有意義な取り組みができたと感じる。さらに、この活動が継続される道筋が立てられたことも評価できる。

・④（就職活動中の学生に向けた各種就職支援行事の実施及び情報提供）について、就職率・就職者が目標数値に達しなかったために「4」の評価になったようである。しかし、目標数値そのものが平成 30 年度から令和元年度に急速に上昇している。これが目標に達しなかった原因であるように思われる。

・5年間にわたる補助事業の最終年度として、これまでの取組みを総括する事業及び成果を引き継ぐための事業を、着実に実行されたと評価する。地域志向科目をすべての学生が受講し、「奈良」に着目させるシステムを定着させたこと、PBL 授業で主体的に地域に関わる学生を育成したこと、また県内自治体や企業の関係者が本学学生と関わる機会を授業の中で設けたことは、本事業のレガシーとして事業終了後も確実に引き継がれると期待される。また県内企業インターンシップ、企業紹介のフェアや見学会等を積極的に実施し、県内就職者を増加させる成果を挙げている。就職率及び就職者数については残念ながら目標値には届かなかったものの、県外からの進学者が大多数を占める奈良女子大学において、学生に奈良県企業や自治体の魅力に気づかせ、県内への定着を図る取組みが今後も継続され、本事業の成果として引き継がれることを期待する。

・④（就職活動中の学生に向けた各種就職支援行事の実施及び情報提供）について、最大の目標であった「就職率」「就職者数」が未達成に終わったので、自己評価どおりとする。

5年間で培った奈良県下の大学・自治体・企業との新しい枠組みを土台に、今後も「奈良創生」に継続的に取り組んでいただきたい。最後の評価会議が、コロナ禍で開催出来なかったのは残念である。

#### 奈良工業高等専門学校

・COC+実施本部を地域創生研究教育センターに改組したことにより、本プロジェクトで成果を上げてきたクラスター研究体制をプロジェクト終了後も継続して維持することができる事を評価する。卒業生の県内再就職は本プロジェクトの目標ではないが、3年間で9名が県内再就職したことは、プロジェクトで奈良県担当部局や県内企業との密な協働の効果であり、実質的に本プロジェクトの成果として評価される。

・学生の県内就職につながったかどうかは不明だが、地域活性化につながる多くの取り組みを積極的に展開し、全体的に目標を達成できている。高専らしい取り組みができ、今後の展開が期待できる。

・評価そのものは基本的に同意するが、自己評価で4とした理由について、もう少し説明されてもいいのではないか。

・5年間にわたる補助事業の最終年度として、これまでの取組みを総括する事業及び成果を引き継ぐための事業を、着実に実行されたと評価する。PBL 授業を行うために整備された基幹教室を活用し、COC+事業実施機関や県内企業等と連携した地域志向科目を着実に実施されており、事業終了後も引き継がれることが十分に期待できる内容となっている。奈良に目を向ける教育、県内企業の見学、研究成果の社会還元の実験を通し、地域に貢献する人材育成の仕組みが成立し機能していると判断することができる。卒業生に向けての県内再就職支援の取組みも確立されており、この人材育成の循環が今後も地域の発展に大きく寄与することが期待できる。

・項目⑨～⑬のクラスター評価は、昨年度オール「4」であったが、3クラスターの成果が

上がり「5」評価となったことは喜ばしい。「医工連携」「スマートシティ」の2クラスターについても、順調な進捗であり研究を継続してほしい。

#### 奈良県立大学

- ・大学の特殊性を利用して、学生に地域のPRを積極的おこなっている。地方公務員に就職を希望する学生をターゲットとして、積極的な支援を行った結果、御所市など新たな地域に内定する学生が現れたことは、評価できる。

- ・5年間にわたる補助事業の最終年度として、これまでの取組みを総括する事業及び成果を引き継ぐための事業を、着実に実行されたと評価する。就職先として志望する学生が多い地方公務員に関し、人事担当者へのインタビュー調査をまとめた小冊子の作成、自治体見学ツアーの開催等、より深く地方自治に対する理解を深める取組みを積極的に行っており、一定の人数が卒業後に就職している。またピア・キャリアサポートの活動に積極的に取組み、学生自身の視線から自発的に「奈良で働くこと」を深く考える機会を設けており、学生の進路選択に大きな影響を及ぼしていることが伺える。これらの取組みが今後も継続され積み重ねられることで、地域に貢献する人材の育成にとって好循環となることが期待できる。

- ・事業の実績は着実に進捗しており、自己評価どおり「4」とする。事業終了後の取組みについて、「令和元年度事業実施報告書冊子」には、キャリア教育専門の専任教員を新たに採用してキャリア・サポート室と連携しながら3点を挙げて事業を継承するという記載あるが、本「自己評価書」では触れられていないので、継承していく旨のコメントが欲しかった。